

仁木 恒夫
法学研究科・教授

【研究】

2025 年度は主に以下の研究を進めた。

第一に、科学研究費補助金の助成を受けて実施してきた共同研究「コンタクト・ゾーンの紛争処理」の最終年度にあたり、その成果の取りまとめに入った。その一環として、5 月に琉球大学で開催された日本法社会学会でミニ・シンポジウムを行った。

第二に、和田仁孝先生古稀記念論文集『法社会学の再定義』の編集の最終段階の作業を行ってきた。

第三に、これまで進めてきた ADR 研究の一環として、阪大法学 75 巻 4・5 号に「法化社会における民間型 ADR の再生のために」を執筆した。

【教育】

大阪大学の担当授業のほか、甲南大学で「法社会学」の非常勤を担当した。

【管理運営】

資料室長の業務を行った。

図書館委員、総合図書館運営委員、附属図書館電子図書委員会委員、総合学術博物館兼任教員の業務を行った。

【社会貢献】

学外委員として、日本法社会学会理事、仲裁 ADR 法学会理事、簡易裁判所判事推薦委員、奈良県建設工事入札参加停止審査会委員、奈良県入札監視委員会委員、奈良県建設工事紛争審査会委員、Nexco 西日本入札監視委員会委員などを担当した。

【特記事項】

とくになし。